

自然を愛し、平和を願う心の美しさを伝える、人々の絆が深まる感動の物語

心いっぱい幸せの花を咲かせよう！

劇団東少  
75th

ミュージカル

# 白雪姫

「グリム童話」より

込山 榛香

(白雪姫)

1998年9月12日生まれ。千葉県出身。  
AKB48のメンバーとして、CMやドラマ、  
映画、舞台など幅広く活躍中。  
近作に舞台 ILLUMINUS『純血の女王  
2022』主演、舞台『星よ女王に墮つ』主演など。  
2024年2月公開の映画『ショコラヴィレ ビエンナーレ』出演中。



渡辺 和貴

(王子)

ミュージカル「忍たま乱太郎」潮江文次郎 役  
舞台「NO TRAVEL, NO LIFE」主役 須田誠役  
朗読劇「モルグ街の殺人～最初の探偵デュパ  
ンの物語～」主役 C・オーギュスト・デュパ  
ン 役 ROAD59「新時代任侠特区」  
アンソニー・チェロ 役  
劇団東少では「孫悟空」孫悟空役 「シンデレラ」「眠れる森の美女」  
「白雪姫」「人魚姫」に王子役で出演。



中村 ひろみ

(妃)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業後、音楽科教員を  
目指し同大学院音楽教育科修了。その後劇団四  
季研究所を経て「ライオン・キング」「マンマ・  
ミーア」に出演。退団後は舞台、テレビ、CM等  
に出演。劇団東少作品では「人魚姫」「孫悟空」  
「シンデレラ」等に出演。僅かながら小学校音楽  
科での非常勤講師の経歴を持ち、10年間特別支援学校外部指導員を勤  
めた他、現在も音楽教室等にて、幼児から80代までを対象に演技・歌唱・  
ピアノ等の指導を行っている。



## ■ものがたり

この作品「白雪姫」の魅力は、  
白雪姫のやさしさや美しい心です。

妃は、世界で一番美しい者は自  
分だけだと信じ、「白雪姫」の継母で  
ありながら、娘である白雪姫の美しさに  
嫉妬し、狩人に命じ白雪姫を殺そうとします。

王様も亡き者にして、この国を支配しようとする魔女のようなお妃。でも狩人は、白雪姫を殺すことができず、白雪姫を逃します。「七つの山を越えて真っ直ぐに」と狩人に言われ、白雪姫は言われた通り真っ直ぐに行き、やっとの思いでたどり着いた所は森のなかにある働き者の小人の国でした。そして白雪姫と小人達の生活が始まります。そこで妃は、働くことの喜びや、自然の美しさを知り、小人達にいろいろなことを教えてもらい、楽しい日々を過ごしました。その頃、お妃は、不思議な鏡の前で世界で一番美しいのは誰かと問いかけると、鏡は「白雪姫が生きている」と答えます。そこでお妃は毒リンゴを使って自分の手で白雪姫を殺してしまいます。小人達が悲しんでいるところへ、オリーブの国の王子が助けに現れます。そこにお妃が現れ壮絶な戦いをくりひろげます。王子様はお妃を倒し、不思議な鏡も割れ、森に平和が訪れます。王子様は白雪姫にお別れのキスをすると奇跡がおこり、白雪姫は目を覚めます。王子様は、白雪姫に「城へ帰りましょう」といいますが、小人達の居てほしいという心を感じ取り、成長した白雪姫は王子様に「私は小人さん達から働くことの喜びや、自然の美しさを知り、小人さん達に色々なことを教えてもらいました。そして



人を思いやることも知りました。もう少しの間勉強して王子様の所へ帰ります」と話しました。その言葉に王子は感動し「わかりました、その時には平和な国を一緒につくり、この国いっばいに幸せの花を咲かせよう」と語り、感動的な幕となります。



## ■かいせつ

白雪姫の登場人物のお妃様は自分の美しさや、地位、欲のために戦争をおこし、白雪姫を殺そうとします。お妃から逃げた白雪姫は、森にある幸せの小人の国で7人の小人と出会いました。外の世界を知らない白雪姫は、小人達に働くことや自然の素晴らしさ、人々が助け合って生きて行く事の素晴らしさを学び、成長していく過程を描いています。

この作品を通して、現代社会で欠落している「愛と思いやり」と「平和」の大切さをもう一度確認していただけたらと願っております。

ミュージカル「白雪姫」が、子どもから大人までたくさんの人の感動を誘い、平和な世の中になることを願い、新しい時代への懸け橋になればと思っています。ぜひ、劇団東少が贈る本格的創作ファミリーミュージカル「白雪姫」をご観劇していただきたいと思ひます。

協力／(株)ディープスキル、(株)NEXst、(株)Am-bitioN、(株)ADDex 協賛／(株)UCM、(株)グローバル・メディア・ブラネッツ

## 劇団東少紹介

劇団東少は、1949年創立以来公演活動を続けて半世紀を越えた歴史のある児童演劇の専門劇団です。公演地は、全国的であり、北は北海道から南は九州沖縄まで幅広く、公演日数も年間100日を超え15万人以上の動員をしています。作品は名作から創作まで数多く手がけ、特に子どものための名作ミュージカルは魅力的な舞台を創り、定評があります。1985年からスタートした東京日本橋の三越劇場での夏・冬の三越ファミリー劇場は、定期公演になり一般公演の少ない児童演劇界でユニークな存在としてその成果を着々と実らせています。

劇団東少の子どものための名作ミュージカルは心のやさしさをメルヘンタッチで描き、現代に通じる愛を、芝居・歌・ダンスで構成し、涙と笑いを織り交ぜながら感動的な舞台を創り、大人にも子どもにも好評を博しております。

## 《劇団東少輝く受賞のかずかず》

- ◆厚生省児童福祉文化賞
- ◆東京都児童演劇祭優秀賞
- ◆東京都児童演劇祭奨励賞
- ◆読売児童演劇賞
- ◆日本児童演劇脚本賞
- ◆厚生省中央児童福祉審議会特別推薦
- ◆文化庁地方巡演・こども芸術劇場指定公演